

NPO 自立支援センター ふるさとの会

2008.11.20
【第11号】



これはHTML形式
のMAILです。
オンラインで無い場合
は画像が表示され
ない可能性があります。

[HOMEPAGE](#)

[SCHEDULE](#)

[EVENTs](#)

※ふるさとの会のメールマガジンをご愛読いただき、誠にありがとうございます。
今後もふるさとの会の活動内容を定期的に情報発信させていただきたいと存じます。
ご不要の場合はお手数ですがご返信くださいますようお願いいたします。

INDEX

1. 地域生活支援センターすみだボーリング大会
2. 第24回みんなのひろば祭り
3. ヘルパーST研修『リスクマネジメント』
4. 横浜市寿町プロジェクトメンバー見学受け入れ
5. 今月のボランティア—越年特集

1. センターすみだ仮装ボーリング大会に参加して

10月29日地域生活支援センター「すみだ」主催による第3回ボーリング大会を、曳舟ボーリングにて開催しました。センターに10時半集合し、江渡職員より本日のスケジュールと「今日はハロウィンも近いので仮装ボーリング大会です」という説明を受けました。大きな蝶ネクタイ、金髪、腰みの、天使の羽根などなど仮装グッズをお渡しし、参加者13名、職員4名が秋晴れの空の下徒歩にてにぎやかにボーリング場へ向かいました。

ペア8チームで仮装しながらのボーリングとなりました。…皆さん大笑いしながらプレイボール！昔ボーリングを楽しんだ世代のかたがたが多く、投げるほどにフォームがすばらしくなっているようでした。笑いど歓声のなか、無事ゲームも終わりセンター「すみだ」へ、賑々しく戻り、ボーリング、仮装大賞の表彰式を行いました。

センター「すみだ」は利用者の方々が、『地域で安心して安定した生活を送れる為の自立支援』を目標に活動を行なっています。今回のイベントには精神のグループホーム2名、移行支援事業利用者4名、リビング2名、台東リビングより1名、敬老室2名、そして元ホームレス非保護者自立生活支援プログラム対象者2名の方々が参加されています。参加者の方々の笑顔と仲間がいるという安心感が伝わり、センター「すみだ」の職員の方による日々の相談やサポートの賜物では、と感じました。

参加者皆様の感想は「久しぶりに体を動かし楽しかった。」「またやりたい」「健康に良いね」との声が多く、帰りには私にも「次のときは又来て一緒に投げよう」と言っていたき、心が温かくなりました。

(松川恵子)



ボーリング部門第一位のペア



ボーリング風景





仮装部門入賞者のペア

衣装をつけて全員集合

2. 第24回みんなのひろば祭り

コーヒーを飲みながら、ステージでの障がい者の方々の心惹かれる歌声を聴きながらいると、車椅子に乗った方が通りすぎ、遠くの滑り台では子供たちが元気に遊び、向こうのテーブルでは区議会議員の方々が歓談していらして、元気な売り子さんたち、敬老室の利用者さんとふるさと職員の楽しげな笑い声。みんなのひろば祭りを覗いた時の風景でした。

老若男女、障がい者・健常者そんな言葉など思いつく暇もなく誰もが単に『楽しい』を発散していてそれが公園に満ちており、まさに『みんなのひろば』と化していました。

以下にご紹介する遠藤氏はふるさとの会の理事、そしてふるさとの会ボランティアサークルの代表であり今回のひろば祭りの事務局局長でもあります。長きに亘る地道な活動と『ひろば』への熱い思いを語っていただきました。

(佐藤信子)

みんなのひろば祭り事務局長を引き受けて

11月3日、台東区の入谷南公園で「第24回みんなのひろば祭」が開催されました。ふるさとの会は16年前から参加していて、今年は模擬店でもつ煮込みとビールの販売をしました。

もともと障害者の施設である台東区松が谷福祉会館の行事として、区の職員が中心となって行われてきたお祭りですが、行政の福祉政策の変化にとまらぬ、民間への移行、障害者福祉の変化で障害者にとどまらず、他の福祉の領域に広がりをもつ中でふるさとの会も参加するようになりました。はじめはかなり違和感を持たれましたが、地域の中で私達のホームレス支援の活動が理解してもらえなければ、とうてい他で理解してもらえないはずもないと思い、懸命に活動してきました。

14年前にの水田前理事長がふるさとの会として事務局長を引き受けてから、今では私が10年間も連続して事務局長を務め、地域ネットワークのかなめとして一翼を担おうとひろばの仲間の一員として共にこのお祭りに参加しています。

当日は区内の約80もの団体が一堂に会して、区長の挨拶でオープニングセレモニーが始まり、舞台イベント、活動紹介、バザー、模擬店と盛りだくさんなお祭りは、障害者の方たちだけでなく、地域の人たちにも根づいてきました。今年は天気にも恵まれ、大盛況に終わりました。

(みんなのひろば祭 事務局長／ボランティアサークルふるさとの会 代表 遠藤幸司)





地域の公園がこの日一日は参加者『みんな』がともに祭りを祝う雰囲気
に包まれました

3. ヘルパーST研修『リスクマネジメント』

10月27日(月)、ヘルパーステーションふるさとでは、ふるさとの会本部研修室にて、『リスクマネジメント研修』を行い、常勤・非常勤を含め合計21名の職員が参加しました。

リスクマネジメントとは、人間は必ずミスをするという事実を直視したうえで、ひとにミスを犯させる原因を究明し、そのミスが事故へと発展するのを防止する仕組みを作りあげることです。在宅介護サービスにおいてもミスは必然的に付きまといますが、そのミスが介護事故につながるのをいかにして事前に防ぐか、という課題について考えるのが今回の研修の主旨です。

研修では、資料を用いて介護サービスにおける複数の事故事例を参照し、利用者に対する介助者の安全配慮こそが事故防止のもっとも基本的な要素であることを確認したのちに、安全配慮の具体策を参加者全員で議論しあいました。結果として、食事介助時の誤嚥事故を防ぐためには利用者の姿勢をまっすぐにしなければならないこと、入浴介助時のスリップ事故を防ぐためにはノンスリップマットが必要であることなど、すでに実践されているさまざまな具体策の重要性を再認識するとともに、「三晃にはもっと大きなノンスリップマットが必要ではないか」、「入浴介助時の事故を防ぐには、手元でお湯の出し止めができるシャワーヘッドも必要だ」といった提案が複数のヘルパーからなされ、その提案はすぐさま参加者の賛同を得、購入・設置の方針へと展開することにもなりました。

今後も私たちは、リスクマネジメントをさらに強化していくため、日々の生活支援のなかで感じたリスクとその解決策について議論する機会を定期的に設け、そこで練り上げられた対策を着実に実現していこうと思います。

(千葉 翼)



食事の際の姿勢の保持が誤飲事故を防ぐ



常に利用者さんの命を預かるスタッフはみな、真剣な面持ち

4. 中区地域福祉保健計画寿プロジェクト～高齢者分科会の方々が見学にみえました

横浜の寿地区では簡易宿泊所を中心に安心して住み慣れた地域で生活できるよう、地域の人々がお互いに支えあい、助け合う仕組みづくりを取り組まれております。

11月12日、寿プロジェクトを構成している介護事業所、民生委員、行政の方々17名が山谷地区のNPOの活動を見たいと見学に見えました。

あさひ館やホテル三晃などを見学された後の意見交換では、寿町の高齢要介護の方が簡易宿泊所で孤独に食事を召し上がっていることが多いという報告がありました。ふるさとの会の施設を見学して、「利用者の方々がテーブルを囲んでいる状況は非常に良い。」「寿地区には社会サービスを導入した宿泊所などがな

い。「箱があってそれを基盤にして支えるネットワークがあると援助の幅が広がるのではないか」となどの話しが繰り返されました。

意見交換を通じて、生活保護や介護サービスだけでは支えきれない単身高齢者の生活が浮き彫りになり、居住支援軸としたネットワーク重要性を改めて実感しました。

(柴山健一)



見学後の質疑応答では事業の内容のみならず職員 山谷地区での「地域ケア連携をすすめる会」の取り組みを中心に事業説明する瀧協理事の体制など熱心な質問が繰り返されました



見学後の質疑応答では事業の内容のみならず職員 山谷地区での「地域ケア連携をすすめる会」の取り組みを中心に事業説明する瀧協理事の体制など熱心な質問が繰り返されました

5. 今月のボランティア—越年特集

ボランティアサークルふるさとの会です！いつもお世話になっております。11月3日(月)文化の日の『みんなのひろば祭り』はおかげさまで大盛況のうちに終わることができました。肌寒い天気だったので熱々の煮込みは大好評でした。年末から年始に向け、以下のイベントを予定しています。ご都合がよろしければ是非ご参加ください。

★ 11月23日(日) 『日帰りバス旅行』参加者付添 3名

敬老室の利用者の方といっしょに出かける日帰りバス旅行を予定しています。今年は銚子の犬吠崎です。大型バスをチャーターしました。利用者の方は40名募集。バスの定員の都合がありますのでボランティアの方は3名まで募集いたします。利用者の部屋に参加者募集のポスターを貼りだしたところ、続々と応募者が集まっています。普段、遠出する機会のない皆さんにとっては年に一度の貴重な楽しみなのです。

★ 12月21日(日)の敬老室での昼食提供・特別行事は恒例のクリスマス会です。今年も「アップルサンタ」の皆さんが長野からおいしいリンゴを持って参加して下さります。是非ご参加ください。

★ 12月29日～1月3日までの6日間 『ふるさとの会越年祭り』参加者大募集！

恒例の越年冬祭りを開催します。路上生活者の方を対象に、炊き出しの配食や物資の供給を行います。この活動の目的は、彼らが少しでも元気になって前を向いて行けるための元気づけと、ふるさとの会と彼らの関係づくりです。今は福祉事務所へ相談に行くことを踏み出せずにいる方が、いざ思い立った時にお手伝いできるための関係づくりです。この冬祭りに、お力を貸して下さるボランティアの方を大募集します！内容は以下のとおりです。また、この行事は全てボランティアのカンパで運営されており、毎年資金繰りが大変困難な状況です。しかし今後もなんとか継続したいので、人材はもちろん、資金面でのご協力、また食材や衣類などの物資のカンパも、どうかよろしく願いいたします。

<ボランティア活動内容>

- * あたたかい食事づくり(毎日違うメニューです！料理経験は問いません)
- * 炊き出し配食&路上生活者の方々との交流(言葉を交わして、彼らへ新しい風を送ってください)
- * 路上生活者ききとり調査(アンケートをとります)

<活動期間>

12月29日から1月3日まで

午前8時30分～午後5時(1日だけの参加OK)

朝8時30分集合ですが、参加時間は応相談です。

12月28日と1月4日も準備と後片付けのボランティアの方を募集しています。

<連絡先>

ボランティアサークルふるさとの会 (担当:町田/馬場)

TEL03-3801-0377 FAX03-3801-0881

ボランティアサークルE-mail boranteahurusato@gmail.com

ふるさとの会HP <http://www.d5.dion.ne.jp/~hurusato/>

＜カンパ振込み先＞
郵便振替 00260-5-63218 ふるさとの会



発行元：特定非営利活動法人 自立支援センターふるさとの会
〒111-0031東京都台東区千束4-39-6
TEL：03-3876-8150 FAX：03-3876-7950
E-mail：hurusato@d5.dion.ne.jp
HP：<http://www.d5.dion.ne.jp/~hurusato/>